

授業科目	教職実践演習（栄養教諭）					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期
担当教員	浜谷 小百合、木村 政伸、杉谷 修一、増本 由紀子、太田 かおり、西原 真弓、塚本 美紀、江藤 真美子						
授業概要	教職実践演習は、これまでの教職課程での学習と教育実習を振り返りながら、栄養教諭としての使命感、保護者や地域への責任、信頼される学校づくり等の課題について考える機会となることを意図している。また、児童生徒等の理解の方法や栄養教諭としての専門性を高めるためのリソース活用法など、各演習テーマについて、3学科（看護学科・福祉学科・英語学科）合同で行う演習、グループワークや討論・発表といった演習形式で学習し、栄養教諭の実践的技能と資質・能力の向上を目指す。						
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 教職課程関連科目について振り返り、各自に残された課題を確認する。(DP2-1, DP3-1) 2. 栄養教諭として求められる資質・能力を具体的な学校場面に位置づけて考えることができる。(DP4-1) 3. 信頼される学校づくりに資する栄養教諭のあり方についての理解を深めることができます。(DP1-1, DP4-1) 4. 児童生徒等の理解の方法とそれに基づく教育活動について実践力を高めることができます。(DP4-2) 5. 食に関する指導の計画・実施・評価に関する実践力を高めることができます。(DP4-2, DP5-1) 6. 栄養教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用法を身につけることができます。(DP1-2, DP5-1)
理想的レベル	栄養教諭としての使命感、保護者や地域への関わり、学校づくり等の課題について考える意識や態度・姿勢をもつことができる。また、自らが栄養教諭として食に関する指導に対する認識を深め、教育現場でどのような食教育を行うことが必要なのかを考え出すことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	40%	
レポート外の提出物	10%	課題（授業中に内容を指示）
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT44116J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

予習：演習内容を踏まえて、履修カルテを再点検する。演習内容に関連する参考資料等を読む。	4
---	---

授業計画

2025 年度

授業コード : 23201600

第 1 回	イントロダクション（全教員） これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。
第 2 回	栄養教育実習の振り返り（浜谷） 栄養教育実習で出てきた課題についてグループ討議を通じ、自己の課題を明らかにする。
第 3 回	保護者や地域、関係諸機関との連携（外部講師、全教員） 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について解説する。
第 4 回	教師にとっての使命感（杉谷） 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループ討議を行うことで、教師の使命感を涵養する。
第 5 回	「チーム学校」の中の栄養教諭の在り方（浜谷） 教育実習を通して「チーム学校」の一員としての栄養教諭の在り方について討議する。
第 6 回	養護教諭との連携について（浜谷、看護科担当教員） 養護教諭と栄養教諭のそれぞれの職務について発表し、養護教諭との連携について討議する。
第 7 回	教育現場が求める栄養教諭像とは（外部講師、浜谷） 現職栄養教諭が行う学校における食育実践例と特別支援学校の給食の特徴
第 8 回	栄養教育実習における授業課題と改善（浜谷） 栄養教育実習で実践した授業に関する課題や授業内容の改善策についてグループ討議を行う。
第 9 回	食に関する模擬授業の実施（1-3 年生）（浜谷） 模擬授業を実施し、授業実践力の向上に向けて討議を行う。
第 10 回	食に関する模擬授業の実施（4-6 年生）（浜谷） 模擬授業を実施し、授業実践力の向上に向けて討議を行う。
第 11 回	食に関する模擬授業の実施（ICT の活用）（浜谷） ICT を活用した模擬授業を実施し、ICT の効果的な活用方法についてグループ討議を行う。
第 12 回	リソース活用（1）食物アレルギーへの対応と個別の相談指導（浜谷） 食物アレルギー対応や個別の相談指導において栄養教諭に求められる専門性を高めるためのリソース活用についてグループ討議を行う。
第 13 回	リソース活用（2）家庭・地域との連携の具体的方策（浜谷） 家庭・地域との連携を図る際に栄養教諭に求められる専門性を高めるためのリソース活用についてグループ討議を行う。
第 14 回	資質・能力の向上に向けた課題の確認（全教員） 教師として求められる資質・能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について確認する。
第 15 回	まとめ（全教員） 前回の演習に基づき、グループ討議を通じて資質能力や実践力の向上への具体的な取り組みを明らかにし、発表する。
テキスト	テキストは用いず、担当教員が配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省ホームページ、農林水産省ホームページ
課題に対するフィードバックの方針	レポート、発表、課題等については、全体または個別に対してコメントをします。

2025 年度 授業コード : 23201600

学生へのメ
ッセージ・
コメント

教職課程の学びの集大成として、これまでの学習や活動を通して学んだ内容を総合的に整理し、教員として必要な資質能力の向上を目指します。自己の課題を見つめ、自分が目指す栄養教諭像を構築し、今後の知識や技能の向上に向けて積極的に学びを深めて下さい。

